

SAMURICE
卓上にぎり機
(TSM-07/A又はB型)

取扱説明書



本機を正しく安全に使用して頂く為に
ご使用前には必ずお読みください。

機種/型式	卓上にぎり機(TSM-07/A/B型)
本体寸法	幅 30 奥行 50 高さ 59cm
電 源	A 型 115V / B 型 220~240V
消費電力	MAX80W
本体重量	23kg



株式会社 TOP

大阪府吹田市垂水町 3-17-10

06-6380-3577

◎安全のために御使用前にお読みいただき、必ずお守りください。

●誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を、 警告  注意の表示で区分して説明しています。

図記号の意味は次の通りです。

 禁止  接触禁止  アース線接続  指示に従い行う

 電源プラグを抜く  分解禁止

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの。

<p>電源プラグはコードを引張って抜かない ●破損し火災の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>長期間ご使用にならない時は電源プラグを抜く ●感電・漏電・火災の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> プラグを抜く</p>
<p>電源コードは傷つけない ●ねじったり、物をのせたり、はさみ込んだりすると破損して、感電や火災の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 傷つけ禁止</p>	<p>各取外し部品は本体より取外して洗浄する ●ケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 取外す</p>
<p>傷んだコードやプラグ差込みがゆるいコンセントは使わない ●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 使用禁止</p>	<p>取外し部品以外の本体には水をかけない ●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>湿気が多い場所や水のかかる場所への設置は避ける ●感電・ショート・発火の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 設置禁止</p>	<p>運転中のホッパー内には手や指を入れない ●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>アースをする ●感電事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> アース線接続</p>	<p>運転中の各ローラー部には手や指を入れない ●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>分解・改造はしない ●感電・発火・ケガの原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 分解禁止</p>	<p>運転中の機械各回転部には手や指を入れない ●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>電源プラグはほこりを取りプラグの根元まで確実に差し込む ●発火・火災の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> ほこりを取る</p>	<p>機械各回転部の洗浄は電源を切ってから行う ●手や指を巻き込んでケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 電源を切る</p>
<p>ガス漏れに気づいたら本体や電源プラグに触れずに窓を開けて換気する ●電気接点の火花により爆発・火災の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 換気</p>	<p>幼児・子供には触らせない ●ケガや事故の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 接触禁止</p>
<p>こげ臭い等の異常時は電源プラグを抜き運転を中止する ●異常のまま運転を続けると感電や火災などの原因になります</p> <p style="text-align: right;"> プラグを抜く</p>	<p>ホッパーにご飯や酢飯以外の物はいれない ●ケガや故障の原因になります</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>



注意 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの。

<p>機械管理理解者の元で使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理解せずに使用するとケガや事故の原因になります <p style="text-align: right;"> 理解する</p>	<p>移動・運搬するときはしっかりと持って移動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機械が落下しケガや事故の原因になります <p style="text-align: right;"> しっかりと持つ</p>
<p>ヒーター内蔵部は直接手で触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヤケドの原因になります。 <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	

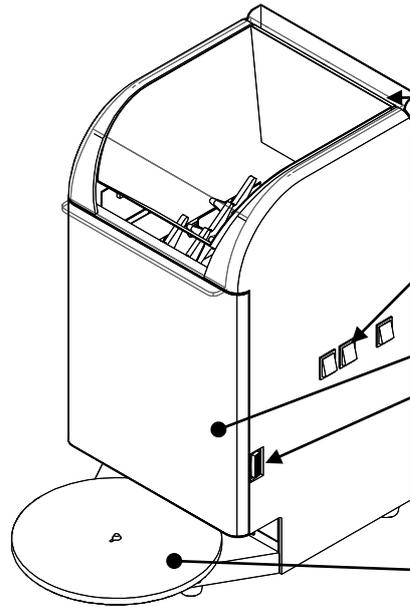
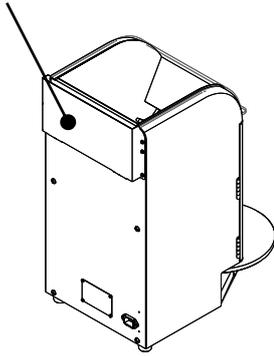


注意 誤った取扱をしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

<p>機械テフロン加工部は硬いブラシや硬いスポンジ等で洗わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テフロン加工がはがれる原因になります <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>部品を変形させない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正常に部品組立ができずに故障の原因になります <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>取外し部品以外の機械本体にかかったオイルや油分はきれいに拭き取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部品劣化や破損の原因になります <p style="text-align: right;"> 拭き取る</p>	<p>床が丈夫で水平な場所に設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機械が倒れて機械・家屋の破損やケガの原因になります <p style="text-align: right;"> 水平に据付</p>
<p>取外した樹脂・プラスチック部品は食器洗浄機や熱湯で洗わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部品変形・破損の原因になります <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>移動・運搬するときはしっかりと持って移動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機械が落下し機械や家屋の破損の原因になります <p style="text-align: right;"> しっかりと持つ</p>

部品名称

フタ収納ケース



ホッパーフタ

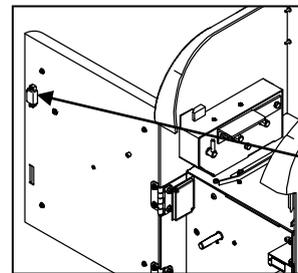
電源スイッチ

スタート/ストップスイッチ

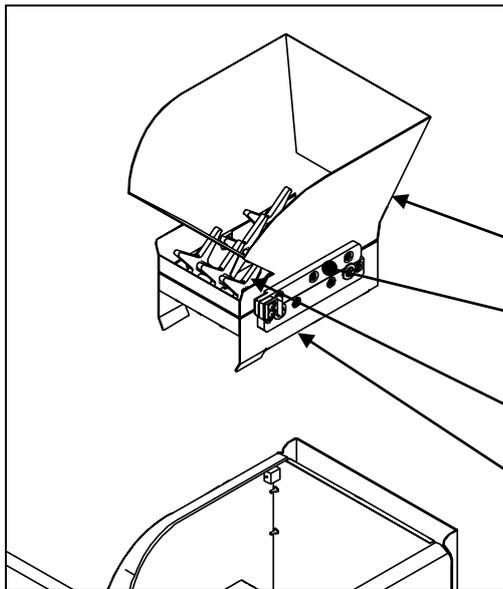
フロントカバー

フロントカバー用ロック

ターンテーブル



フロントカバー用
安全スイッチ

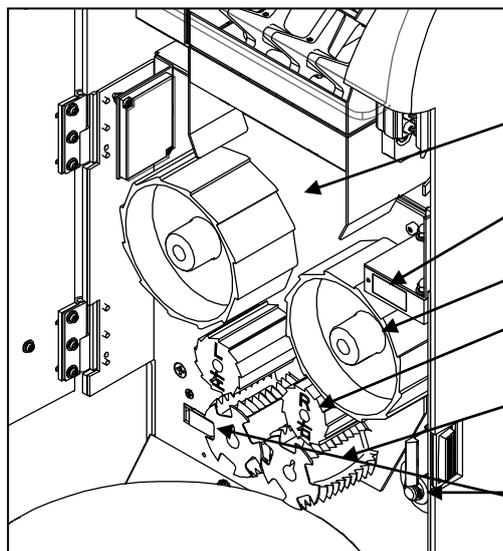


上部ホッパー

上部ホッパー用ロック

しゃり送り羽根

下部ホッパー



テフロン板

しゃり送り羽根用センサー

しゃり送りローラー (大)

しゃり送りローラー (小)

硬さ調整

成型ローラー

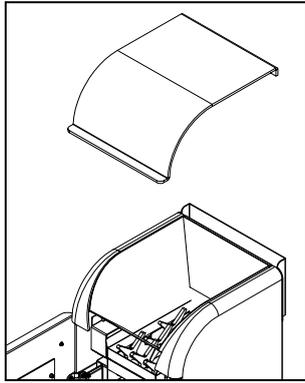
硬さ調整

ターンテーブル用センサー

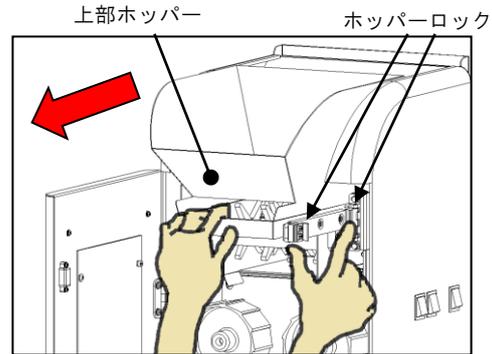
部品取外し方法(ホッパー)

危険

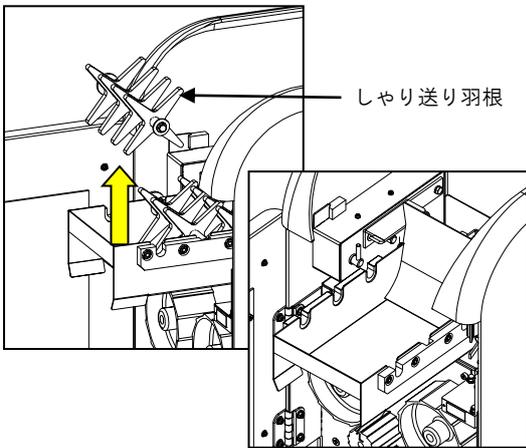
部品を取外し・取付けする時は必ず電源スイッチを切ること。
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。



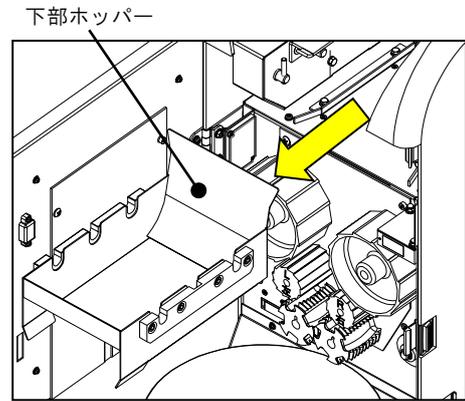
①電源スイッチを切ってから、ホッパーフタを本体より取外す。



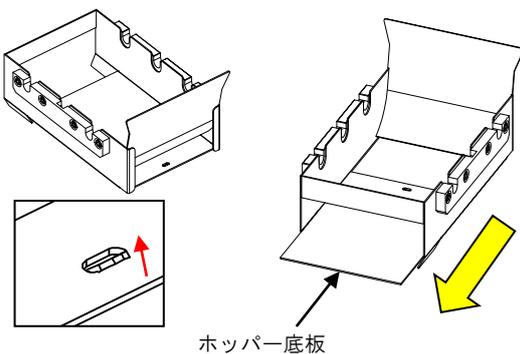
②ホッパーロックを押しながら上部ホッパーを手前に引き出す。



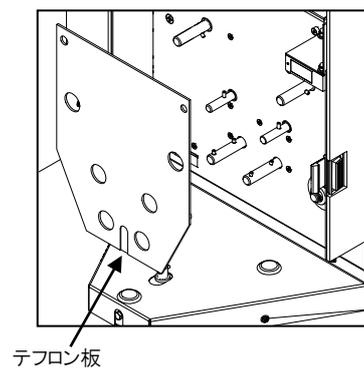
③しやり送り羽根を手前から順に、上方向に取外す。(3本)



④下部ホッパーを手前に引き出す。



⑤取外した下部ホッパーより、ホッパー底板を取外す。
底板後部を持ち上げながら、ホッパーピン部より外しホッパー底板を手前に引き抜く



⑥最後にテフロン板(奥/手前)を手前に取外す。

注意

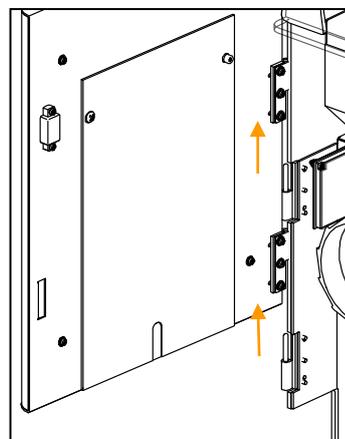
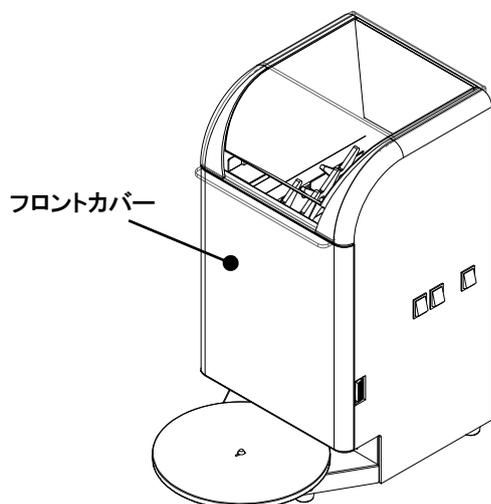
取外した部品は金ブラシや硬いスポンジなどで洗わない事テフロン加工が傷む原因になります。
取外した部品は食器洗浄機では洗わない事、部品の変形や破損の原因になります。

部品取外し・取付け方法(フロントカバー)*115V A 型タイプのみ

危険

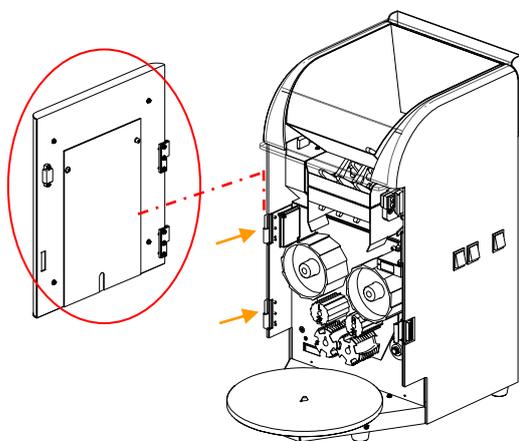
部品を取外し・取付けする時は必ず電源スイッチを切ること
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。

○取外し方法



- ① フロントカバーを開き上方向に持ち上げると本体より外れます。

○取付け方法



- ① フロントカバーの差込部を本体矢印部に合わせて上から差込みます。

◎安全のためにフロントカバーを取付けて閉めないで機械は作動しません。

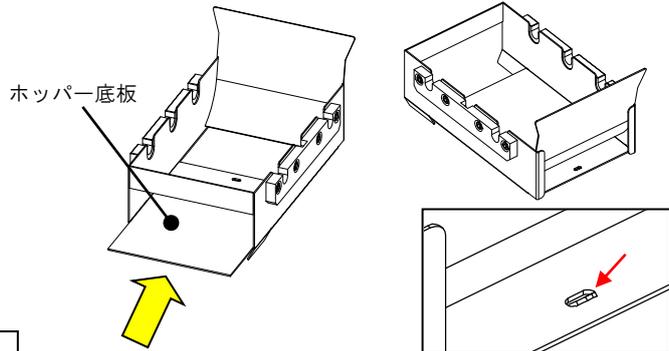
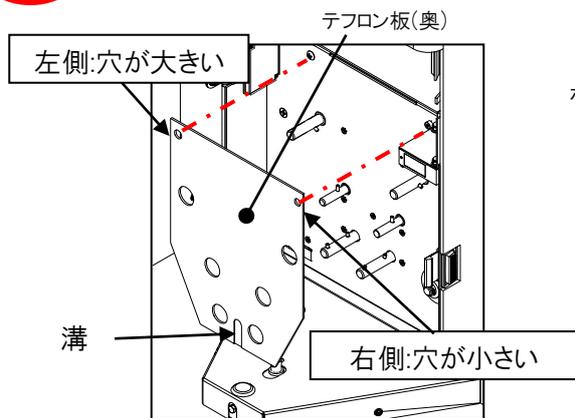
注意

フロントカバーは樹脂製ですので落としたり、ぶつかけたりすると破損の原因になりますので注意して下さい。

部品取付け方法(ホッパー部)

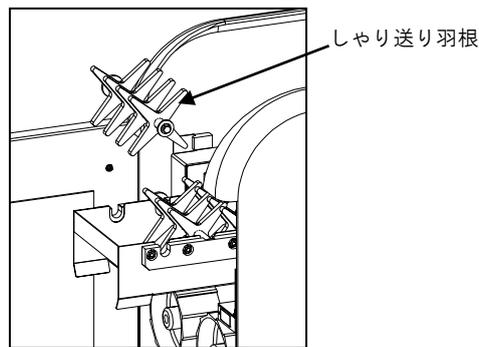
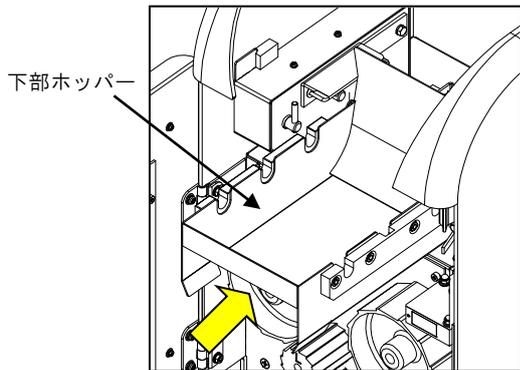


部品を取外し・取付けする時は必ず電源スイッチを切ること。
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。



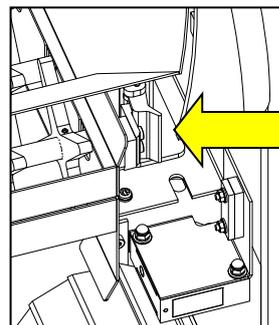
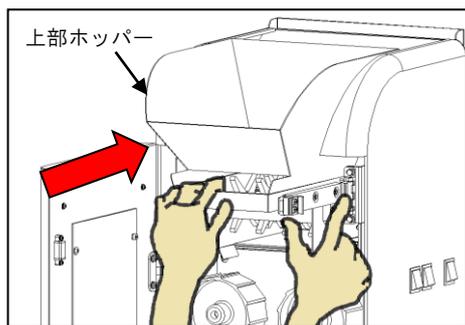
①テフロン板(奥)(手前)を本体に取付ける。
*溝が両方とも見えるように

②下部ホッパーにホッパー底板をセットする。
*底板後部を持ち上げながら、底板後部の穴をホッパーピン部に確実にはめる。



③下部ホッパーを本体にセットする。

④しゃり送り羽根を奥から順に、セットする。(3本)
1番手前と1番奥は4枚羽根
2番目は3枚羽根



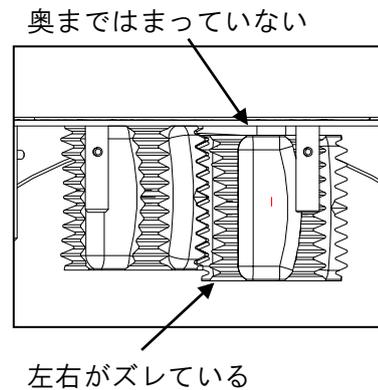
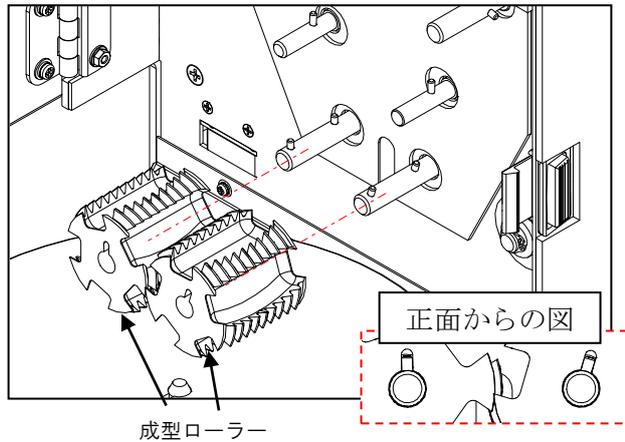
⑤上部ホッパーを下部ホッパーの上ののせ、そのまま奥まで差し込む。
*この時、途中で奥に入らない時は④のしゃり送り羽根が上に浮いている時がありますので確認して下さい。

⑥最後にホッパーロックが確実にロックされているか確認する。

取付け方法(ローラー部)

危険

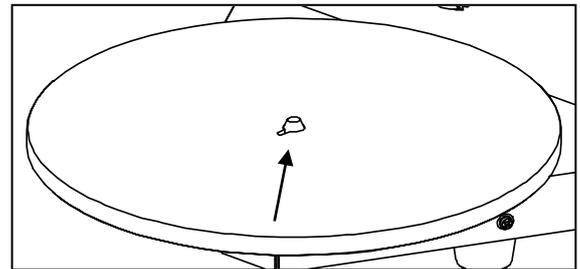
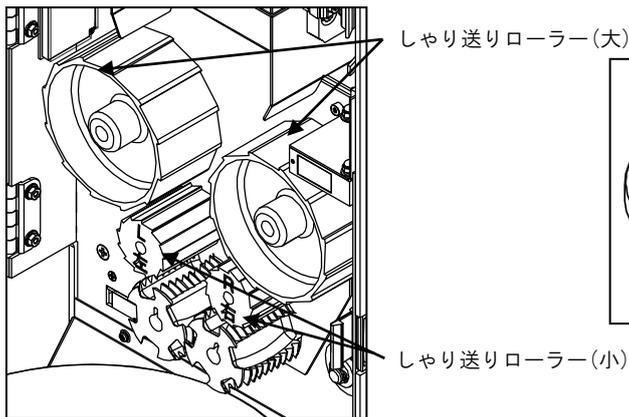
部品を取付けする時は必ず電源スイッチを切ること
回転部に手を巻き込み大ケガの原因になります。



①成型ローラーのピン溝部を本体の取付軸の
ピンの位置と合わせ、**左右を同時に奥まで**
確実に入れる。

●本体に成型ローラーをセット後、左右
がズれていないか確認する。

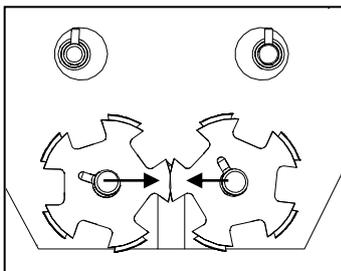
*右用・左用あり(刻印が入っています。)



②しゃり送りローラー(大)(小)を取付ける。
*右用・左用あり(刻印が入っています。)

③本体のターンテーブル軸とターンテー
ブルの穴を合わせて、上からはめる。

重要項目



×取付けができない状態

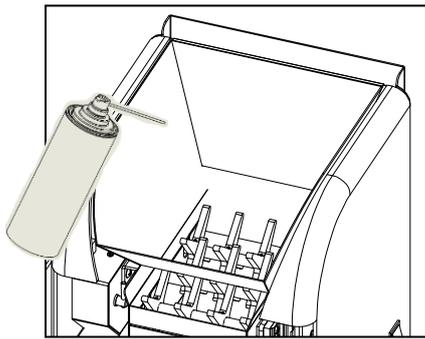
*成型ローラーを取付ける時に、左写真のように左右のローラーの先端
が重なってしまう位置(矢印部)の場合はローラーの取付けが、硬くてで
きませんので以下の作業を行って下さい。

- ①フロントカバーを閉める。
- ②電源スイッチを入れる。
- ③スタート/ストップスイッチをスタート側にする。
- ④再度スイッチをストップ側にする。

*ローラーが取付けできる位置で自動に停止します。

- ⑤電源スイッチを切る。

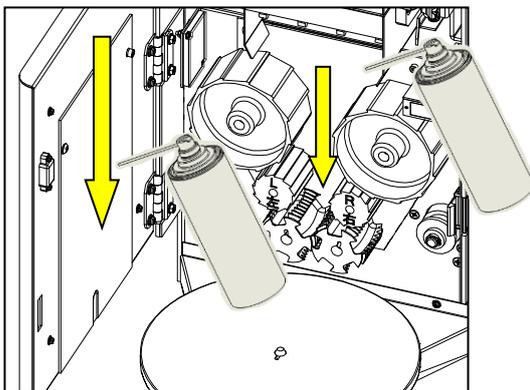
スプレーオイルをつける部分



- ① 使用前にはホッパー内にスプレーオイルをスプレーしてください。

危険

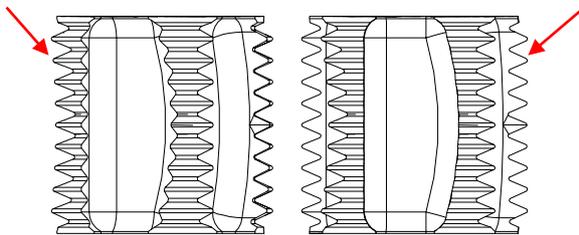
危険ですのでホッパー内には絶対に手などを入れないで下さい。



- ② 使用前にはテフロン板(奥/手前)を本体より取り、しゃりの通過部分(矢印部)にオイルをスプレーしてぬりつけて下さい。

●作業途中にもしゃり玉がばらけて出てくるような時には、このテフロン板の表面にしゃりが付着していますので表面に付着しているしゃりを拭き取ってからスプレーオイルをスプレーして下さい。

*硬さ調整ノブにはスプレーオイルがかからないように注意して下さい。故障の原因になります。



- ③ 使用前にはしゃり玉成型ローラーをいったん本体から取り、ローラーの山/谷部分にスプレーオイルを直接スプレーして下さい。

●作業途中にしゃり玉が頻りに転んでターンテーブルに落ちてくる様な時は再度上記の作業を行って下さい。その時ローラーに糊上にしゃりが付着している時はいったん水で洗ってからスプレーオイルをスプレーして下さい。

●納品された新品の機械は上記のテフロン板(奥/手前)や各ローラーには油分が全く付いていない状態ですので、各部品洗浄後本体に組立て前に必ずスプレーオイルをスプレーしエンボス手袋などでぬりつけて下さい。*成型ローラーには直接スプレーして下さい。

*特に成形ローラーには必ずスプレーオイルをしっかりと直接スプレーしオイルをローラーによくなじませて下さい。

この作業をしないまましゃりを入れるとテフロン部であってもしゃりが付着します。

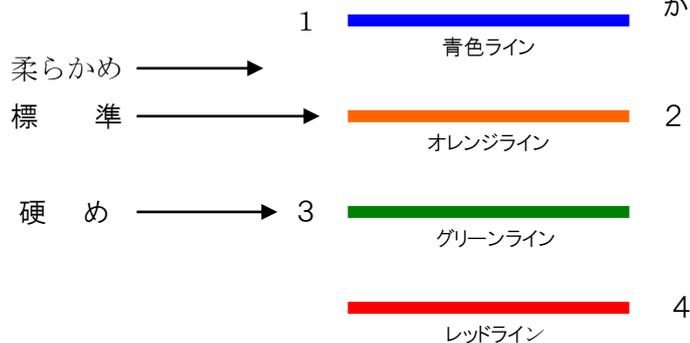
危険

危険ですのでオイルを成型ローラーにスプレーする場合には電源を切り、本体より取り外してからスプレーして下さい。手を巻き込み大ケガの原因になります。

硬さ調整(グラム調整)

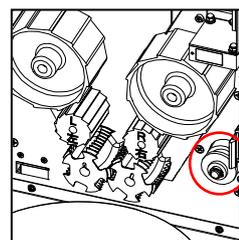
○調整ノブは本体フロントカバー内右下に有ります。

目盛の説明



*注意

1.5 以下にするとしゃり送りローラー(大)が回らなくなり、しゃりを送らずに寿司玉が作れなくなります。

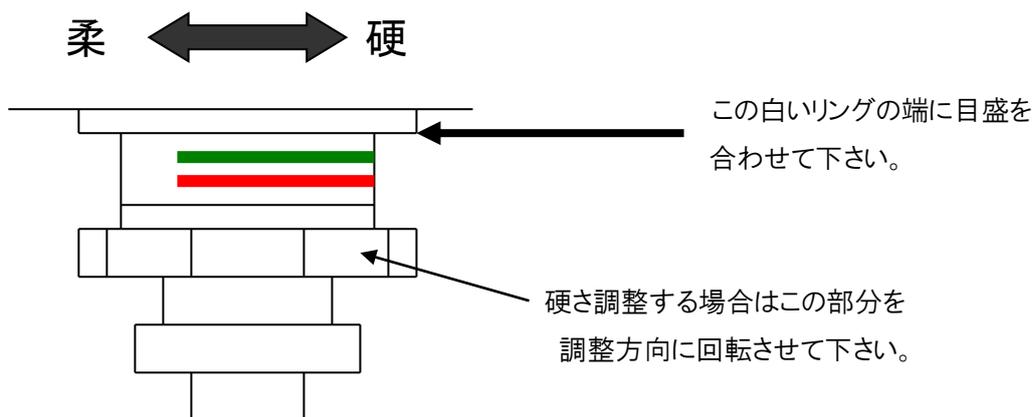


○標準硬さの場合は目盛2(オレンジライン)に合わせて下さい。(出荷時設定)

○少し柔らかくしたい場合は目盛1(青ライン)と2(オレンジライン)の間で調整して下さい。

○硬めにしたい場合は目盛3(緑ライン)に合わせて下さい。

- 目盛の数字が小さくなるほど柔らかくなります。
- 標準よりも硬めにすると1グラム程度重くなります。
- 標準よりも柔らかくすると1グラム程度軽くなります。
- 柔らかくなる方向(1.5 以下)に調整し過ぎるとしゃり玉が作れなくなります。



注意

硬さ調整ノブ部分にはスプレーオイルが、かからないように注意してください。

作業手順のまとめ

- 1、 スプレーオイルを各部分にスプレーする。
- 2、 ホッパーが正しくセットされているか確認する。
- 3、 各ローラーが左・右が正しくセットされているか確認する。
- 4、 しゃりをホッパーに入れる。
- 5、 電源スイッチを入れる。
- 6、 スタート/ストップスイッチを押す。

＊ 停止させる時は運転/停止スイッチを再度押す。

- 7、 ターンテーブルに寿司玉が出てきます。

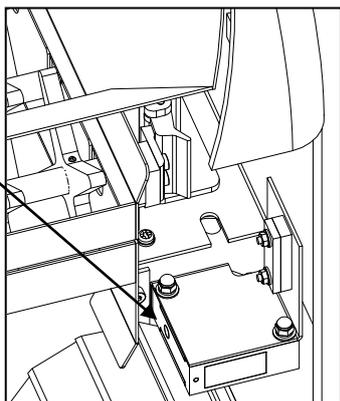
● 寿司玉は運転初めのしばらくは、ばらついて出てきます。

危険

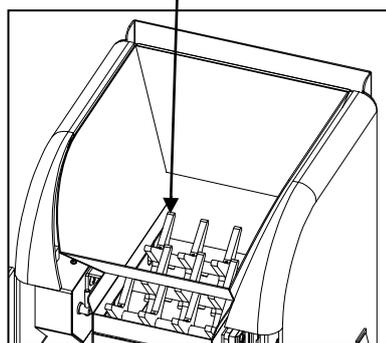
ホッパー内やローラー一部には危険ですので運転中は絶対に手を入れないで下さい。

各センサー説明

しゃり送り羽根用
センサー



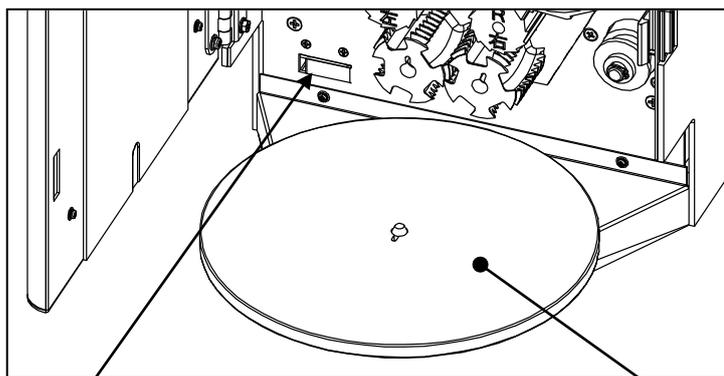
しゃり送り羽根



○しゃり送り羽根用センサー

このセンサーはしゃり送りローラー(大)部にしゃりが無くなると反応して、しゃり送り羽根を回転させるためのセンサーです。

*発光部(赤レンズ部)にオイルやごはん粒などが付着している時は、誤動作をしてしゃり送り羽根が全く回転しないことがありますので、赤レンズ部をよくしぼったフキンなどできれいに拭いてください。



ターンテーブル用センサー

ターンテーブル

○ターンテーブル用センサー

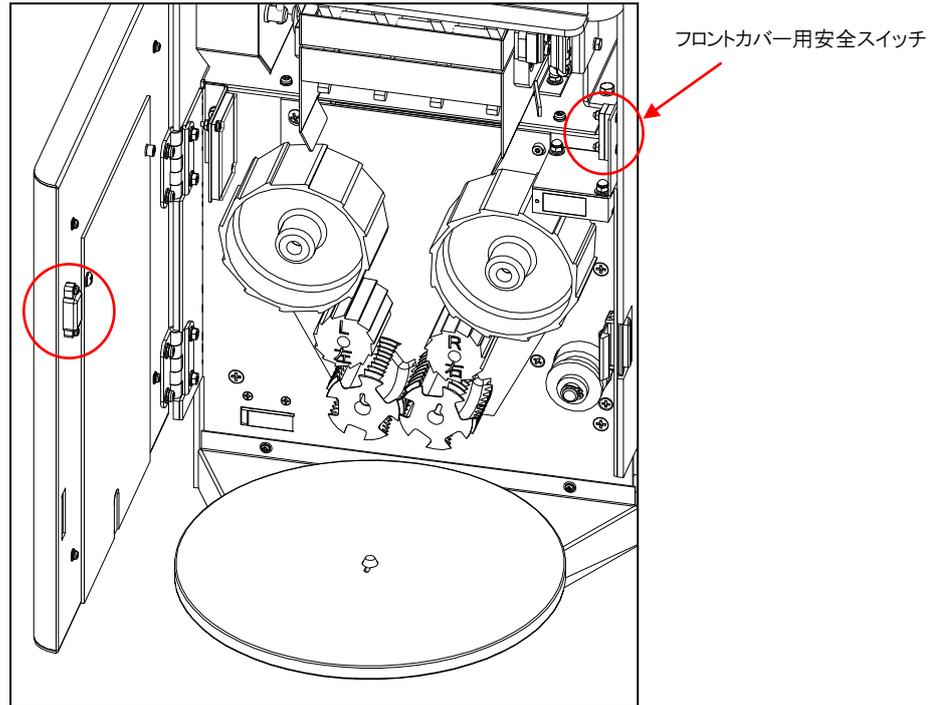
このセンサーはターンテーブル上に一定量の寿司玉が並ぶと運転を自動停止させるためのセンサーです。

*発光部(赤レンズ部)にオイルやごはん粒などが付着している時は、誤動作をしてターンテーブルが全く回転しないことがありますので、赤レンズ部をよくしぼったフキンなどできれいに拭いてください。

注意

センサーには絶対に水やスプレーオイルをかけないで下さい。
感電による事故・ケガ・故障の原因になります。

フロントカバー安全スイッチ



○フロントカバー用安全スイッチ

安全のため、フロントカバーを開けると機械は全停止します。

注意

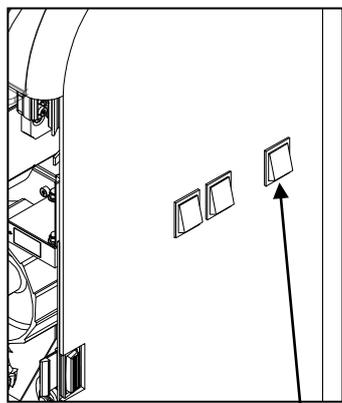
スイッチには絶対に水やスプレーオイルをかけないで下さい。
感電による事故・ケガ・故障の原因になります。

保温ヒーター *オプション設定 Hタイプのみ

危険

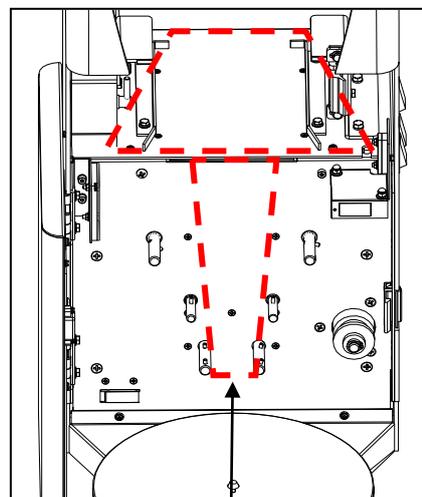
ヒーター内蔵部は熱くなりますので直接手で触らないように注意して下さい。
ヤケドの原因になります。

保温スイッチ



保温スイッチ

- ①保温スイッチを入れると右写真点線部に内蔵の保温ヒーターが入ります。
*完全に温かくなるまでに約5分かかります。

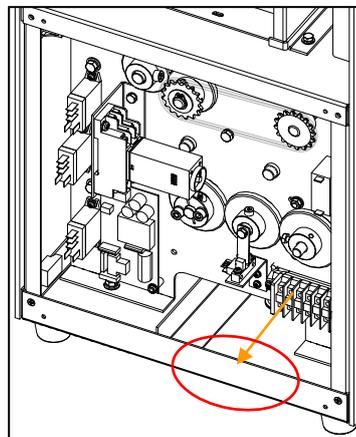
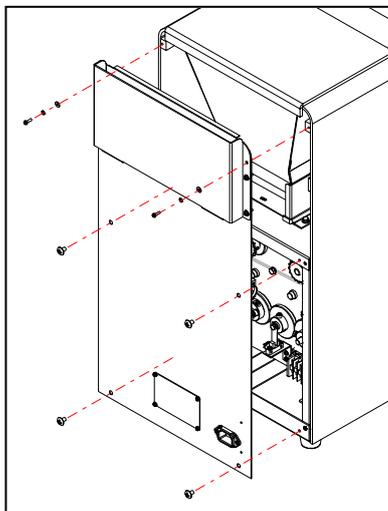


ヒーター内蔵部
*点線内

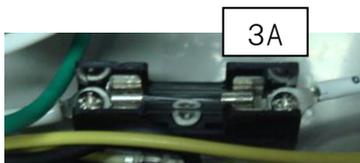
部品交換方法(ヒューズ)

注意

ヒューズの交換を行う時は必ず本体の電源コードを差込んでいるコンセントから抜くこと。
感電・ケガ・事故の原因になります。



- ①安全のために必ず本体の電源コードをコンセントから抜いたあと本体背面板のネジ(矢印部6カ所)を外し本体背面を開きます。



- ②ヒューズボックスからヒューズを抜き取り新しいヒューズに交換して下さい。

*ヒューズ管の中の線が通常はつながっていますが途中で切れていたらヒューズを交換して下さい。

●ヒューズは御購入時に予備品ケースの中に1本付属しています。使用ヒューズ(3A用)

○御注文は販売店にお問合わせ下さい。

トラブルシューティング

1、電源が入らない時

- 本体の電源コードが差込口から抜けていないか確認して下さい。
 - 本体を差込んでいる電源元(お店側)のブレーカーが切れていないか確認して下さい。
 - 本体背面内部のヒューズが切れていないか確認してください。*P12 参照
- *ヒューズを交換する時は危険ですので必ずコンセントを抜いてから交換作業を行って下さい。

感電事故やケガの原因になります。

2、寿司玉がくずれて出てくる時

- しゃり送りローラー(大)の左・右の取付が逆になっていないか確認して下さい。*P6 参照
- テフロン板(奥・手前)のしゃりの通過部分にスプレーオイルをつけてください。*P7 参照
- フロントパネル内側の硬さの調整が柔らかい方向に調整され過ぎていないか確認してください。*P8 参照

3、硬い寿司玉が出てくる時

- しゃり送りローラー(小)の左・右の取付が逆になっていないか確認して下さい。*P5 参照
 - フロントパネル内側の硬さの調整が硬い方向に調整され過ぎていないか確認してください。*P8 参照
- *しゃりが成型ローラー部に入ったまま停止させている時は、成型ローラー部の1個は硬い寿司玉が出てきますのでホッパーにほぐして戻してください。

4、寿司玉の形がいつもと異なる時

- 寿司玉成型ローラーの左・右の取付が逆になっていないか確認してください。*P5 参照

5、寿司玉が頻繁に転がってターンテーブルに落ちてくる時

- 寿司玉成型ローラーをいったん本体より取外し、ローラーの山/谷部分にスプレーオイルを直接しっかりとスプレーしてください。*P7 参照
- *尚、山/谷部分にしゃりが糊状に付着している時は一度きれいに水で洗浄して、スプレーオイルをしっかりとスプレーしてから使用してください。

6、ホッパー内のしゃり送り羽根が回転しない時

- しゃり送り羽根用センサー発光部(赤レンズ部)にオイルやごはん粒などが付いていないか確認してください。
- *よくしぼったフキンなどできれいに一度拭いてください。*P10 参照

7、しゃり送り羽根が回転しているのに、しゃりがローラー部に送られてこない時

- 下部ホッパーにセットするホッパー底板(白色)が、セットミスにより手前にズレていないか確認してください。*P5 参照

8、ターンテーブルが回転しない時

- ターンテーブル用センサー発光部(赤レンズ部)にオイルやごはん粒などが付いていないか確認してください。
- *よくしぼったフキンなどできれいに一度拭いてください。*P10 参照